

にいがた就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画【概要】

(令和2年8月6日 第2回「にいがた就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」会議で策定)

計画期間：令和2年度～令和4年度

I 趣旨

- バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期（概ね平成5年から平成16年）に学校卒業期を迎えた、いわゆる「就職氷河期世代」においては、卒業時、不安定な就労や無業に移行したことが端緒となり、今なお、不安定就労等を余儀なくされている者も少なくない状況にある。
- そのため、にいがた就職氷河期世代活躍支援プラットフォームでは「事業実施計画」を策定し、就職氷河期世代の方々の活躍の機会が広がるよう、県内の気運を醸成し、各界が一体となって効果的かつ継続的な取組を推進していくこととする。

①不安定な就労状態にある方

II 目標

- 正規雇用者数 5,550人（3年間）

III KPI（いずれも3年間）

- ハローワークの正社員就職者数 6,813人
- 助成金活用の正社員転換数 1,278人

IV 主な取組等

- ハローワーク新潟に「就職氷河期世代支援コーナー」を設置
- 安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公的職業訓練を実施
- 民間企業のノウハウを活用した不安定就労者等再チャレンジ支援事業を実施
- 労働局にコーディネーターを配置し、経済団体との協力の下で、職場体験・職場実習の機会を確保

②就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方

II 目標

- サポステを中心に、当事者やご家族の希望に応じ、求職活動へ踏み出すための支援を行い、就労その他の職業的自立につなげることを目指す

III KPI（いずれも3年間）

- サポステの新規受付者数 723人
- サポステの相談件数 8,271件
- サポステのセミナー等参加者数 4,413人
- サポステの支援による進路決定者数 495人

IV 主な取組等

- サポステの支援対象年齢を49歳までに拡大
- サポステによる自立相談支援機関等福祉機関等への出張相談等の実施
- サポステ・労働局の連携による職場体験先企業の開拓

③社会参加に向けた支援を必要とする方

II 目標

- 支援対象者やそのご家族のニーズや状態に応じ、支援が必要な方には確実に支援が届くよう、身近な市町村に相談して、支援を受けられる体制を整備するとともに、地域の様々な関係機関がネットワークを構築することにより、支援対象者が社会とつながりながら地域で生活できることを目指す

III KPI

- ①ひきこもり支援や自立相談の担当者に対する研修会の実施②生活困窮者自立支援制度就労準備支援事業について、県内全福祉事務所設置自治体において実施することを促進する

IV 主な取組等

- 関係支援者の資質向上のための研修の実施
- 市町村の相談窓口を明確化し周知
- 市町村単位でのネットワークの構築に努め、にいがたP Fとの連携を図る